

被ばく低減対策に不可欠な遠隔ロボット技術等の基礎が学べる

# 放射線管理計画等 作成者用研修 開催レポート

福島第一原子力発電所の廃炉作業を進める上で、必要となる被ばく低減対策や遠隔ロボット技術に関する基礎知識を学ぶ研修を、2023年9月15日（金）にJAEA梶葉遠隔技術開発センターで開催（ハイブリッド形式）しました。

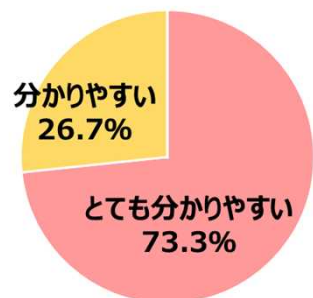
## 研修開催概要

- <開催日>  
9月15日（金）
- <時間>  
09：30～16：00
- <会場>  
JAEA梶葉遠隔技術開発センター 講義室1・2
- <講師>  
石渡 雅幸 氏（日立GEニュークリア・エナジー株式会社）  
石原 哲 氏（大成建設株式会社）  
百瀬 琢磨 氏（日本原子力研究開発機構）

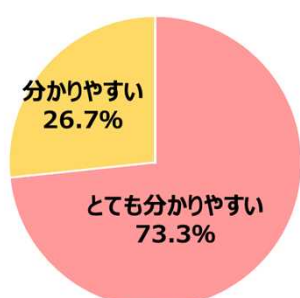
## プログラム概要

- <放射線管理計画等作成者用研修>
  - ・無人化工法や遠隔操作による工法
  - ・作業場所の放射線環境の測定・評価
  - ・労働者の集団線量及び個人線量に係る計画線量の設定
  - ・内部被ばくの防止
- <実習プログラム>
  - ・クローラロボット操作実習
  - ・水中ドローン操作実習
  - ・1F建屋のデータを整備したVRシステム

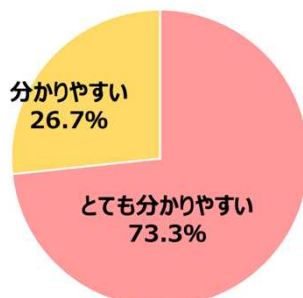
## アンケート結果（一部抜粋）



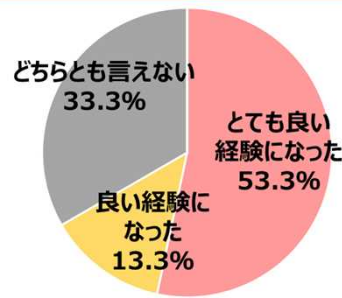
石渡講師の講義  
【無人化工法】



石原講師の講義  
【高線量箇所の除染等】



百瀬講師の講義  
【放射線の被ばく管理】



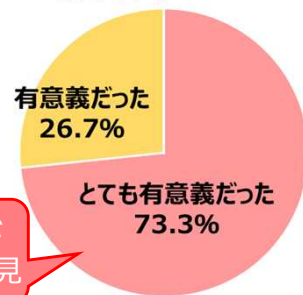
水中ドローン実習  
について



### 受講者の声

- ・実際に1Fの廃炉作業現場をご経験されている方々のご講演や資料は、重要なポイントが分かりやすくまとめられていた。無人化工法の重要な場面をリアルに伝えていただけたことで、安全面（場面によっては安心感）の訴求ができる題材だった。
- ・今後の作業で役に立つ、被ばく低減に関する内容を再認識できたので良かった。
- ・線源寄与率の具体的な測定方法を確認できたので良かった。

7割以上が  
強い肯定意見



今回の研修は有意義でしたか？